

# 平成30年度「県大へ行こう—授業公開週間—」

## 科目別授業概要一覧

### 【庄原キャンパス】

生命環境学部（生命科学科・環境科学科）専門の公開科目・・・緑色  
 全学共通公開科目・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・紫色  
 模擬講義，学科紹介企画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・黄色

#### 【7月16日（月）】

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
2	英語Ⅲ	河村 和也	2502 CALL 教室	10名
<p>2年生を対象に、英文を正確に読み取ることができ、critical reading やプレゼンテーションができること、自分の意見を英語で表現し、相手に効果的に伝えることができることを目標としています。本講義では、リーディングに必要なスキルを駆使し、速読や多読を行い、読解によって得た情報をもとに意見をまとめ、効果的な発信へのつなげる活動を行います。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
2	生活化学	長尾 則男	2202 講義室	若干名
<p>本講義は、今後学んでいく専門領域への橋渡しとなるように基礎的な化学知識の充実を目的として「身近な化学」について講義を展開します。当日は物質の状態変化、気体の性質について取り上げる予定です。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
2	県大生として学ぶ 広島と世界	上水流 久彦 吉野 智之	大講義室 2201 講義室(予定)	指定なし
<p>生命環境学部1年生を対象として、本学および広島県の特徴や課題を知るとともに、本学が学術協定を結んでいる大学のある国や地域について理解を深めます。当日は、国や地域の事情の情報を積極的に探し、グループ討議を行った後、その成果を発表する予定です。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
2	教育心理学	坪田 雄二	2101 講義室	3名
<p>本講義は、教員免許状の取得に必要な科目のうち、「幼児・児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程」に相当する科目である。教育上の現象を心理学の知識を使って説明できるようになることを目指しています。当日は、学習意欲（動機づけ）に関する諸現象や理論について、解説していく予定です。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
2	模擬講義	調整中	調整中	指定なし
<p>各学科・コース(応用生命科学コース，食品資源科学コース，環境科学科)の学習内容をより深く理解してもらうため、模擬講義を実施します。(各20分)</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
3	食品化学	山本 幸弘	1202講義室	指定なし
<p>本講義は、食品成分の変化(例えば脂質の酸化や食品の褐変など)や栄養機能について化学的に理解し、習得することを目的としています。なお当日は、食品関連の話題に関して、学生(3~4人/グループ)によるプレゼンが行われる予定です。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
4	生体機構学	阿部 靖之	1202講義室	10名
<p>哺乳動物の体は、様々な器官、それを構成する組織・細胞によって成り立ち、相互作用しながら機能しています。これら構造の知識が、生命活動を維持・調節する生理的機能を理解する上で必要です。本講義は、2年生(生命科学科・応用生命科学コース)を対象に、各器官の構造を肉眼的・組織学的に解説し、医療やバイオテクノロジーに応用しうる基本的知識の習得を目的とします。当日は、泌尿器・生殖器について講義する予定です。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
4	無機化学	西本 潤	2202講義室	5名
<p>本講義は、2年生を対象に、無機物質に係る化学の基礎知識を修得するために行っている講義です。化学結合と分子の構造、固体の化学、溶液の化学、電気化学、錯体の化学の内容について話します。当日は錯体の化学について話をする予定です。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
4	進学説明・研究室見学	(応用生命科学) 八木 俊樹 (食品資源科学) 野下 俊朗・長尾 則男 吉野 智之 (環境科学) 西村 和之・青柳 充	各研究室	20名程度
<p>前半は、生命環境学部(生命科学科、環境科学科)の特徴や入試について説明します。 後半は、グループに分かれて研究室の様子を見学し、教員又は所属学生が研究内容について説明します。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
5	環境水理学	崎田 省吾	1202講義室	10名
<p>水質汚濁物質は「水」とともに輸送されることから、水環境を解析・予測するためには水の流れの理解が必要です。また、環境浄化施設(上下水道や工場用排水処理等)の設計・運転管理においても、水の流れの作用の知識が不可欠となります。本科目では、水の流れの力学を数理的視点から学びます。</p>				

【7月17日（火）】

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
1	有機化学	野下 俊朗	大講義室	指定なし
カルボニル基を中心に様々な酵素反応（縮合・加水分解，酸化・還元など）を有機化学に視点から学んでいきます。酵素反応もフラスコ内の反応も同じように解釈できることを理解します。				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
2	英語 I	河村 和也	2502 CALL 教室	10名
1年生を対象に，語彙力や文法力を高め，さまざまな分野の英文を正確に理解できること，文章の社会的・文化的・歴史的背景を読み取り，異なる文化に対する知識を深められること，自分の意見を平易な英語を用いて表現できることを目標とした授業です。				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
2	生物物理化学 I	八木 俊樹	1202 講義室	5名
生物も物理学，化学の原理に従います。本講義では，生命科学を深く理解する上で必須となる物理学および化学の基礎を平易に解説します。当日は，学部2年生程度を対象として，「生物と電磁波」についての講義を予定しています。				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
2	生態学	五味 正志	2201 講義室	10名
本講義は，生命科学科の2年生を対象に，生態学の基礎知識を習得することを目的としており，教養科目と専門科目をつなぐ内容です。当日は，行動生態学の内容について講義する予定です。				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
3	英語 I	河村 和也	2502 CALL 教室	10名
1年生を対象に，語彙力や文法力を高め，さまざまな分野の英文を正確に理解できること，文章の社会的・文化的・歴史的背景を読み取り，異なる文化に対する知識を深められること，自分の意見を平易な英語を用いて表現できることを目標とした授業です。				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
4	生物資源化学	野下 俊朗	1201 講義室	制限なし
天然有機化合物の構造研究法①天然有機化合物の構造解析法について代表的な機器分析法のうち，赤外線吸収スペクトル法（IR）を中心に簡単に説明します。その他，質量分析法（MS）にも言及します。				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
4	進学説明・研究室見学	(応用生命科学) 荻田 信二郎・阿部 靖之 八木 俊樹・齋藤 靖和 (食品資源科学) 吉野 智之 (環境科学) 西村 和之・青柳 充	各研究室	20名程度
<p>前半は、生命環境学部（生命科学科，環境科学科）の特徴や入試について説明します。 後半は、グループに分かれて研究室の様子を見学し、教員又は所属学生が研究内容について説明します。</p>				

### 【7月18日（水）】

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
1	食品保存学	吉野 智之	2202講義室	指定なし
<p>食品の殺菌 従来からの衛生管理とHACCP (Hazard Analysis and Critical Control Point)について解説するとともに、様々な滅菌法や殺菌法を紹介します。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
2	有機化学	野下 俊朗	大講義室	指定なし
<p>カルボニル基を中心に様々な酵素反応（縮合・加水分解，酸化-還元など）を有機化学に視点から学んでいきます。酵素反応もフラスコ内の反応も同じように解釈できることを理解します。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
2	英語Ⅲ	河村 和也	2502 CALL 教室	10名
<p>2年生を対象に、英文を正確に読み取ることができ、critical readingやプレゼンテーションができること、自分の意見を英語で表現し、相手に効果的に伝えることができることを目標としています。本講義では、リーディングに必要なスキルを駆使し、速読や多読を行い、読解によって得た情報をもとに意見をまとめ、効果的な発信へのつなげる活動を行います。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
3	環境社会科学Ⅰ	小林 謙介	2202講義室	指定なし
<p>環境問題の回避・解決のためには、様々な利害関係者が、それぞれの立場で対策に取り組む必要があります。本講義では、国・自治体、事業者、個人・市民など、社会における各立場から、環境問題にどのような形で取り組み、循環型社会の構築に向けた活動が行われているのかを理解します。地域における環境計画（第14回）では、地元自治体の例もとに、地域の環境計画について、ねらいや、効果・課題などについて理解する予定です。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
3	英語Ⅲ	河村 和也	2502 CALL 教室	10名
<p>2年生を対象に、英文を正確に読み取ることができ、critical readingやプレゼンテーションができること、自分の意見を英語で表現し、相手に効果的に伝えることができることを目標としています。本講義では、リーディングに必要なスキルを駆使し、速読や多読を行い、読解によって得た情報をもとに意見をまとめ、効果的な発信へのつなげる活動を行います。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
4	環境マネジメント学	小林 謙介	2202 講義室	指定なし
<p>本講義では、エネルギー消費量の分析を例に動態を捉えるための計測方法や解析方法について学んでいきます。また、様々な環境影響を解析するため、LCAを用いた評価手法等について理解します。更に、マテリアルフロー分析にも触れ、自ら環境動態を解析し、定量的な視点からその削減策を提案するための力を身につけます。環境動態分析（第14回）では、環境動態を俯瞰的に捉えるマテリアルフロー分析手法について学ぶ予定です。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
4	進学説明・研究室見学	(応用生命科学) 阿部 靖之・齋藤 靖和 (食品資源科学) 野下 俊朗・甲村 浩之 吉野 智之 (環境科学) 西村 和之	各研究室	20名程度
<p>前半は、生命環境学部（生命科学科、環境科学科）の特徴や入試について説明します。 後半は、グループに分かれて研究室の様子を見学し、教員又は所属学生が研究内容について説明します。</p>				

## 【7月19日（木）】

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
2	英語Ⅰ	河村 和也	2502 CALL 教室	10名
<p>1年生を対象に、語彙力や文法力を高め、さまざまな分野の英文を正確に理解できること、文章の社会的・文化的・歴史的背景を読み取り、異なる文化に対する知識を深められること、自分の意見を平易な英語を用いて表現できることを目標とした授業です。</p>				

限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
3	英語Ⅰ	馬本 勉	2502 CALL 教室	10名
<p>本授業は1年生を対象に、基本的な英語のリーディングと発信技能を身に付けるため、CALL教室の機器を活用したアクティブ・ラーニング形式で行っています。当日は、世界のメディアで報じられたニュースを素材に、内容理解やグループでの意見交換といった活動を予定しています。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
3	分子進化発生学	菅 裕	大講義室	指定なし
<p>生物進化の仕組みを遺伝子レベルで解明する試みを紹介します。この回では、そのツールとなる分子系統樹の推定の仕方や、遺伝情報を解析する技術などを講義します。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
4	植物組織培養学	荻田 信二郎	2202講義室	指定なし
<p>生命科学科3年生を対象に、私たちが資源利用している植物について、その有用性を理解すること、さらには植物細胞・組織培養技術の活用について学修しています。当日は、受講学生が小グループを構成して調査中の資源植物活用事例についてディスカッションや解説を実施予定です（AL形式）。ラーニングコモンズを活用する場合があります（別途指示します）。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
4	英語Ⅲ	河村 和也	2101講義室	10名
<p>2年生を対象に、英文を正確に読み取ることができ、critical reading やプレゼンテーションができること、自分の意見を英語で表現し、相手に効果的に伝えることができることを目標としています。本講義では、リーディングに必要なスキルを駆使し、速読や多読を行い、読解によって得た情報をもとに意見をまとめ、効果的な発信へのつなげる活動を行います。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
4	進学説明・研究室見学	(応用生命科学) 八木 俊樹・阿部 靖之 (食品資源科学) 野下 俊朗・長尾 則男 吉野 智之 (環境科学) 西村 和之・青柳 充	各研究室	20名程度
<p>前半は、生命環境学部（生命科学科、環境科学科）の特徴や入試について説明します。 後半は、グループに分かれて研究室の様子を見学し、教員又は所属学生が研究内容について説明します。</p>				

### 【7月20日（金）】

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
1	水環境管理工学	西村 和之	3201講義室	指定なし
<p>本講義は、環境科学科の3年生を対象にした専門科目講義です。 低学年での講義群で環境保全のための法制度や行政政策の考え方等の知識を十分に習得していることを前提に、水資源管理、上水道施設及び下水・生活排水処理施設の考え方や技術・システムを学ぶ講義であり、当日は、水資源管理の単元の総括に関わる内容の講義です。</p>				

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
2	模擬講義	調整中	調整中	指定なし

各学科・コース(応用生命科学コース, 食品資源科学コース, 環境科学科)の学習内容をより深く理解してもらうため, 模擬講義を実施します。(各20分)

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
3	基礎食品学	山本 幸弘	大講義室	指定なし

本講義は, 食品を構成する諸成分(例えば水, 炭水化物, タンパク質, 脂質など)について, 構造や食品における役割について基本的な諸性質について理解することを目的としています。なお, 当日は食品に含まれる有害成分について概説する予定です。

時限	授業科目名	担当教員名	教室	受入予定人数
4	進学説明・研究室見学	(応用生命科学) 八木 俊樹 (食品資源科学) 野下 俊朗・長尾 則男 吉野 智之 (環境科学) 西村 和之・青柳 充	各研究室	20名程度

前半は, 生命環境学部(生命科学科, 環境科学科)の特徴や入試について説明します。  
後半は, グループに分かれて研究室の様子を見学し, 教員又は所属学生が研究内容について説明します。